



心をあらわす言葉

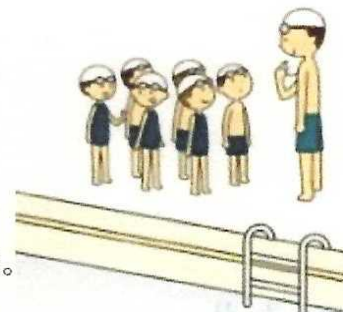
小学校5年生の男の子は、やせていた。裸になると胸の肋骨がはっきり浮き出てしまっていた。病気ではなかったが、体質なのか太ることができなかった。

6月になって、学校で水泳が始まった。その男の子は、級友とともに水着に着替えてプールサイドに整列した。後ろの方で、クスクス笑い声がした。そして、「ハスミ、すごいガリじゃん」の一言が聞こえてきた。「ガリ」とは、骸骨のようにやせているという意味。それ以来、私のあだ名は、「ガリ」となった。

ガリといわれるのが嫌だった。たまらなく嫌だった。水泳の時間に着替えるとガリと言われる。だから、水泳をサボり始めた。

担任の先生に嘘をつく、「風邪気味なので見学させてください」と。乾いたままの水着をもって帰ると母親が心配するから、休み時間に人目をさけてこっそり水場に行って水着とタオルをぬらした。辛かった、先生や親に嘘をつく自分がみじめで、情けなくて…とても苦しかった。何とか太ろうとご飯や牛乳を無理やり口にするが、逆にお腹をこわして、下痢をしてしまった。

幸い、見かねた友達が悪口をいう級友に、「そんなこと言うなよ。卑怯じゃないか。」とやってくれて、からかいは終わった。



生徒の会話の中に、時々、友達の人格や人権を傷つけるような言葉を耳にすることあります。言っている当人は軽い気持ちかもしれませんが、耳にする側にはこたえます。これが高じると、言葉による暴力や集団でのからかいなどの悪質ないじめにつながる場合があります。

高橋 系吾さんが、「よい子に育てるかたらい集」に下の一文を著わしていらっしやいます。



大谷場中学校では、相手を傷つける言葉を生徒が使っている

場合は、気付いた時にその場で指導を加えていきます。ご家庭でも言葉のつかい方についてお話し合いをもっていただくようお願いいたします。

※さいたま市では、6月をいじめ撲滅強化月間と位置付けています。

明日から多くの運動部で学校総合体育大会の地区大会が始まります。3年生を中心とした生徒の皆さんの健闘を期待します。保護者の皆様、応援をよろしくお願いいたします。

(校長 はすみ さとし)

その一言 (その ひとつ)

その一言で、励まされ	その一言で、夢をもち
その一言で、腹が立ち	その一言で、がっかりし
その一言で、泣かされる	
ほんのわずかな一言が	不思議に大きな力をもつ
ほんのちょっとしたの	一言で